



Q1. 1990～2020年で世界の森林はどれくらい減った?

- ① 1800万 ha (日本の面積の約半分)
- ② 7500万 ha (日本の面積の約2倍)
- ③ 1億7800万 ha (日本の面積の約5倍)

世界の土地のほぼ3分の1は森林で、その面積は40.6億 haです。1990～2020年の30年間で約1億7800万 haの森林が減少しました。1分間に東京ドーム2個分の森林が失われている計算です。増え続ける人口を支えるための食料を生産するために森林を農場や牧場にしたり、安価な木材を手に入れるための違法な森林伐採が続いています。気候変動などの影響もあり、大規模な森林火災が世界各地で増えています。森林が消失するだけでなく、動物の生息地が失われるなど、生態系にも深刻な影響が出ています。森林破壊の犯人は人間です。貴重な森林を再生する努力が、世界の国々に求められています。(答えは③)



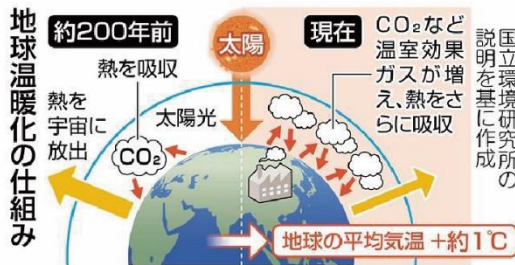
関連するSDGsの目標



Q2. このままだと今世紀末(2100年)に気温は何度上がる?

- ① 約1度
- ② 約3度
- ③ 約5度

地球温暖化は人間の様々な活動で出る温室効果ガスが原因で進んでいます。さらに経済が発展すれば、二酸化炭素の量はもっと増えていきます。このままだと、温暖化はさらにスピードアップして、2100年までに気温は最大で約5度も上がると予測されています。北極や南極の氷が溶けて海面が上昇したり、生き物がすみかを失うなど、温暖化は地球にさまざまな影響をおよぼします。(答えは③)



関連するSDGsの目標



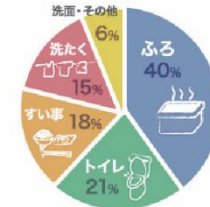
Q3. シャワーが1分短いとどれだけの節水になる?

- ① 2リットル
- ② 12リットル
- ③ 120リットル

人が暮らしていくために必要な水の量は、最低でも1日100リットルといわれています。しかし、日本の家庭で1日に使われている水の量は、ひとり当たり200リットルくらいです。

そのうち約40%がお風呂、約20%がトイレと、ほとんどの水が何かを『洗う』ことに使われています。

水を1分間流しっぱなしにすると、12リットルのムダになります。手洗いやシャワーのときはこまめに蛇口を開閉する、皿洗いの時は、食器の汚れをふいてから洗う、洗濯する時はお風呂の残り湯を使うなど、ちょっとした心がけを積み重ねることが、明るい地球の未来につながります。(答えは②)



関連するSDGsの目標



Q4. 石油はあと何年でなくなる?

- ① 50年
- ② 100年
- ③ 500年

地球の地下には、石油や石炭、天然ガスなどさまざまなエネルギーが眠っていますが、どれも限りある資源です。

すでにあることが確認されていて、採ることができる量を可採埋蔵量、これを年間生産量で割った年数を可採年数といいます。技術の進歩や経済の状況で変化しますが、石油とガスが50年、石炭は132年、ウランは115年採ることができるかとみられています。(答えは①)

また、化石燃料を燃焼させてエネルギーをつくる時には、大量の二酸化炭素が出て、これが地球温暖化を加速する原因になってしまいます。

化学燃料 寿命



関連するSDGsの目標



今後の予定

ゴールデンウィークの宿題 (全生徒)

SDGsについての調べ学習をしてきてもらおうと考えています。

17の目標の中で自分が一番関心のある項目について、気になったニュースや取り組み、またその問題を解決するために自分のできることは何か、について調べてワークシートにまとめてきてください。(宿題のプリントは来週配布します。)

SDGs 行動宣言アート

(全生徒) 5月末～

地球が抱える問題を解決するために、自分にできる簡単なことから始めよう!

ということで、行動宣言を全員に書いてもらい、貼り合わせ、宣言アートをつくる予定です! ご協力お願いいたします!

※お手伝いボランティアもこの新聞を通して募集します。お見逃しなく!